

2022年度版

環境経営レポート

(2022年4月～2023年3月)

作成日 2023年7月28日
改定日 2023年12月30日

「地球にやさしい」
企業を目指して
循環型社会への
取り組みを
行っています。



認証番号 0010706



豊田第一



豊田第二



龍ヶ崎



宝塚



枚方



熊本



宗像



佐賀



本社
相模原第一



宮崎



新居浜



Sagamihara
Vegetable
Plant



相模原第二



フ・ライムデリカ

目次

Plan

I. 計画の策定

要求事項 1.	取組の対象組織・活動の明確化	1
要求事項 2.	代表者のより経営における課題と チャンスの明確化	3
要求事項 3.	環境経営方針の策定	5
要求事項 4.	環境への負荷と環境への取り組み状況 の把握及び評価	6
要求事項 5.	環境関連法規等の取りまとめ	7
要求事項 6.	環境経営目標及び環境経営計画の策定	9

Do

II. 計画の実施

要求事項 7.	実施体制の構築	17
要求事項 8.	教育・訓練の実施	19
要求事項 9.	環境コミュニケーションの実施	20
要求事項 10.	実施及び運用	20
要求事項 11.	環境上の緊急事態への準備及び対応	21
要求事項 12.	文書の作成・管理	23

Check

III. 取組状況の確認及び評価

要求事項 13.	取組状況の確認・評価、並びに問題の 是正及び予防	23
----------	-----------------------------	----

Act

IV. 全体の評価と見直し

要求事項 14.	代表者による全体の評価と見直し・指示	23
----------	--------------------	----

要求事項 1. 取組の対象組織・活動の明確化

組織・活動

基本理念

「私たちはお客様に信頼される誠実な企業でありたい」

従業員行動規範

1. 正直であること
2. 礼儀正しいこと
3. 清潔であること
4. 敏速に行動すること
5. メモをとること
6. 報告を怠らないこと

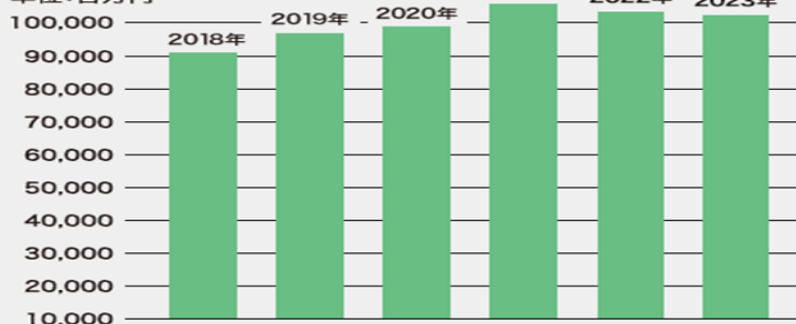
会社概要

社名	プライムデリカ(株)
本社所在地	〒252-0328 神奈川県相模原市麻溝台1-7-1
創業	1986年10月1日
資本金	1億円
代表者	代表取締役社長 齊藤 正義
株主	プリマハム(株) (株)セブン-イレブン・ジャパン
従業員数	社員760名、パートナー従業員8200名
事業内容	食料品製造
主要品	調理パン/スイーツ/惣菜/サラダ/軽食
主要取引先	(株)セブン-イレブン・ジャパン
主要仕入れ先	日本デリカフーズ協同組合 プリマハム(株)

売上高

2018年3月期	900億円
2019年3月期	963億円
2020年3月期	989億円
2021年3月期	1051億円
2022年3月期	1021億円
2023年3月期	1016億円

単位:百万円



商品の製造工程



入室前の手指と体温チェック



手指を殺菌して入室



野菜などの検品チェック



調理・殺菌



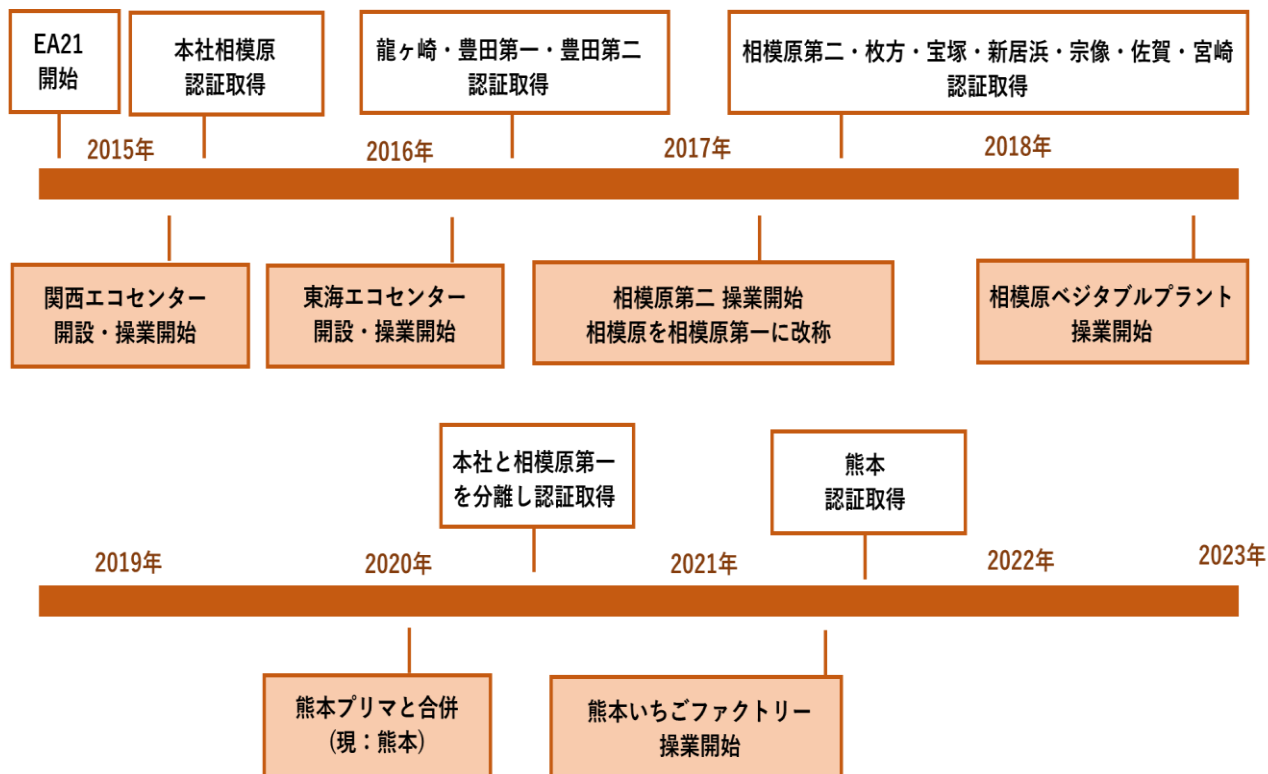
トッピング包装して出荷

要求事項 1. 取組の対象組織・活動の明確化

沿革

1986年10月にプリマハム株式会社のセブン-イレブン向け惣菜製造会社として神奈川県厚木市にて創業を開始し、エコアクション21は、2014年度から活動を始め2017年に全社で認証を取得しました。

●EA21認証と環境変化



事業案内

生産拠点を全国エリアに拡大し、現在12工場で同一のハイレベルな生産管理体制を敷き、毎日24時間、セブン-イレブン向けの食品を生産し続けています。

事業所名	所在地
本社・相模原第一	〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台一丁目7番1号
相模原第二・SVP	〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻3605
龍ヶ崎	〒301-0852 茨城県龍ヶ崎市向陽台5-6-3
豊田第一	〒470-0334 愛知県豊田市花本町井前1番地23
豊田第二	〒470-0361 愛知県豊田市猿投町野入44-53
枚方	〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町15-1
宝塚	〒665-0051 兵庫県宝塚市高司4丁目6番40号
新居浜	〒792-0852 愛媛県新居浜市東田二丁目乙1番2
宗像	〒811-3201 福岡県福津市八並268-1
佐賀	〒849-0902 佐賀県佐賀市久保泉町大字上和泉1580-22
熊本	〒861-1343 熊本県菊池市七城町林原1
宮崎	〒880-0303 宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂11375-12

要求事項2. 代表者のより経営における課題と チャンスの明確化

ごあいさつ

昨今、経営に環境を取り入れるのが当たり前となってきています。当社でも会社全体で取組んでいかなければならない課題だと捉えています。

環境の取り組みは多岐にわたり、実際上手くいっている工場や、そうでない工場があるのも実情ですが、まずは「チャレンジ」して様々なデータ収集を行い良否の判断を早い段階で行うようにすることで工場独自で環境への取組を進めていきたいと思えます。

セブン-イレブン・ジャパンは今年で50周年を迎え、これから先も発展していくために「健康・環境・地域・人材」という4つのキーワードを示されました。セブン-イレブン・ジャパンでは既に「グリーンチャレンジ2050宣言」という環境宣言もしていますが、お店だけでなく製造を行うデイリーメーカーや運搬会社などの関連企業も含め全体で取り組むとしています。

セブン-イレブン・ジャパンの長期目標達成のために、プライムデリカでは2023年に「サステナビリティ2030宣言」を掲げました。「脱炭素社会」「循環経済社会」「自然共生社会」の3本柱に具体的な数値目標を定めています。

異常気象や二酸化炭素増大など待ったなしの世界となりました。一人でやっても、我が社だけやってもとよく言われていますが、責任をもって一人ひとり、一社一社が環境に取り組んでいかななくてはならないと感じています。

環境はやらなくてはならないということ、誰かがやるのではなく自分がやるということ、その2つを意識して進めていきます。



プライムデリカ株式会社
代表取締役社長 齊藤 正義

要求事項2. 代表者のより経営における課題と チャンスの明確化

サステナビリティ2030宣言

脱炭素化社会

二酸化炭素 排出量の削減

2030年までに
2013年度比
50%削減を
目指します！

循環経済社会

食品残渣と 廃プラスチック の削減

2030年までに
2013年度比
50%削減を
目指します！

自然共生社会

地域共生
外周清掃や
ボランティア活動
GAP認証推進で
持続可能な調達
50%以上取得を
目指します！

13 気候変動に
具体的な対策を



脱炭素社会

1. 二酸化炭素排出量の削減

・2026年までに非化石電力に100%切替

※非化石エネルギーを含めた全てのエネルギーの削減

12 つくる責任
つかう責任



循環経済社会

1. 廃プラスチック類の削減

2. 食品廃棄物排出量の削減

- ・生産工程の管理を徹底し歩留改善
- ・廃プラスチック類の洗浄機を導入して洗浄し重量削減
- ・単一素材の廃プラスチック類を分別し有価物化
- ・消滅機を導入し、食品廃棄物を微生物分解して減容化
- ・単一具材（パン耳、シュー皮、スポンジ等）の有価化

11 住み続けられる
まちづくりを



自然共生社会

1. 地域との共生

2. 持続可能な調達

- ・地域の環境改善活動に参加
- ・地域のイベントや環境取組などに協賛
- ・工場敷地外の定期的な清掃活動
- ・仕入野菜の50%をGAP認証取得農家から購入
(※加工品などについては組合から共同購入)

★GAP認証とは？

GAPとはGood Agricultural Practicesの頭文字をとった「良い農業の取り組み」認証制度です。農林水産省が導入を推奨する農業生産工程管理の手法で、持続性に向けた取り組みになります。

要求事項 3. 環境経営方針の策定

環境経営方針

プライムデリカ環境経営方針

【基本方針】

プライムデリカは、「私達は、お客様に信頼される誠実な企業でありたい」という基本理念のもとに事業展開しています。

食品企業である私たちは、製品原材料の多くは自然の恩恵から享受しており、その豊かな自然環境を次世代へ継承する責任があります。

地球環境保全是経営の最重要課題のひとつであると認識し、持続可能な社会の実現に向け、以下の行動指針に基づき、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営の継続的改善を実施します。

【行動指針】

1. 環境負荷の低減

・事業活動において、省エネルギー・省資源化・食品残渣の発生抑制及びその他廃棄物の削減等、環境負荷の低減に努め美味しい商品を提供します。さらに、太陽光発電等の自然エネルギーの利用に積極的に取り組みます。

2. 持続可能な社会貢献

・環境に配慮した商品開発、機械設備、備品の購入を推進します。また、事業活動に係る原材料の調達・製造・物流・廃棄までのライフサイクルで、環境に配慮した調達、水・熱の再利用化、運送、食品残渣及び廃プラスチック類、その他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

3. 法規制順守

・環境関連法規制等の要求事項を順守するとともに、環境リスクの未然防止に努めます。

4. 地域との共生

・環境保全活動に積極的に参加し、地域社会への貢献とコミュニケーションを図ります。

5. 社外公表・周知

・環境情報を広く適切に開示し、全従業員に対し周知徹底するとともに、社外にも公開します。

プライムデリカ株式会社

代表取締役

齊藤 正義

制定日 2019年 4月 1日

最終改定 2023年 5月 16日

 プライムデリカ

要求事項4. 環境への負荷と環境への取り組み状況の把握及び評価

環境への負荷の自己チェック

●主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	結果
二酸化炭素排出量	t-CO2	69,567.7	66,586.3	◎
廃棄物排出量(食品廃棄物等を除く)	t	29,695.3	26,930.8	◎
食品廃棄物排出量	t	19,376.3	17,377.9	◎
廃プラスチック類排出量	t	5,860.3	5,467.6	◎
その他産業廃棄物排出量	t	4,458.6	4,085.4	◎
食品循環資源の再生利用等の実施率の向上	%	90.8%	92.3%	◎
水使用量	千m ³	2,072.6	2,016.2	◎

全ての項目で基準年度2021年度よりも改善することができました。

●電気事業者別排出係数

環境経営目標を設定するに当たり、2021年度購入電力のCO₂調整後排出係数は国が公表する電気事業者毎の数値より2020年度実績のものを使用しています。

工場名	契約会社	排出係数	単位	期間
相模原第一	エネット	0.3850	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/6/30
	東京電力	0.0000	kg-CO2/kWh	2022/7/1～2023/3/31
相模原第二	東京電力	0.4430	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
龍ヶ崎	シナジアパワー	0.4430	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2022/11/21
	東京ガス	0.0000	kg-CO2/kWh	2022/11/22～2023/3/31
豊田第一	中部電力	0.3790	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
豊田第二	中部電力	0.3790	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
枚方	関西電力	0.3510	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
宝塚	関西電力	0.3510	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
新居浜	四国電力	0.5740	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
宗像	九州電力	0.4800	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
佐賀	九州電力	0.4800	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
熊本	九州電力	0.4800	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31
宮崎	九州電力	0.4800	kg-CO2/kWh	2022/4/1～2023/3/31

相模原第一工場、龍ヶ崎工場では、2022年度途中から電力を100%再生可能エネルギーに切替を行いました！

●自然エネルギーの利用について

環境経営方針に記載した自然エネルギーの利用として、太陽光発電を相模原第二工場、龍ヶ崎工場、豊田第二工場、新居浜工場および宮崎工場にて取り入れております。

●原単位について

当社では原単位を算出するにあたり、生産量(千pk)を使用しており、生産数量は2021年度は626,374千pkです。

●化学物質使用量について

当社でのPRTR法に該当する化学物質の使用はありません。

要求事項 5. 環境関連法規等の取りまとめ

環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果

(1) 主要な法令一覧

各工場で環境関連法規について遵守状況の確認を行ったところ、相模原第二の排水処理施設から漏洩がありました。食品リサイクル率は、相模原第一・相模原第二・龍ヶ崎で未達でしたが全社では達成しています。

○: 遵守、△: 対応中、-: 該当せず

法令の名称		相模原第一・本社	相模原第二	龍ヶ崎	豊田第一	豊田第二	枚方	宝塚	新居浜	宗像	佐賀	熊本	宮崎
環境一般	公害組織防止法	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大気	大気汚染防止法	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-
	自動車NOX・PM法	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-
水質	水質汚濁防止法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道法	○	△	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-
	浄化槽法	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	○
	海洋汚染防止法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	瀬戸内海環境保全特別措置法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	湖沼水質保全特別措置法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土壌汚染	土壌汚染対策法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
騒音	騒音規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
振動	振動規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地盤沈下	工業用水法	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-
	ビル用水法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
悪臭	悪臭防止法	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○
化学物質	化審法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	化管法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ダイオキシン類対策特別措置法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	PCB廃棄物処理特別措置法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
	毒劇法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消防法(危険物取扱に関わる部分のみ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水銀汚染防止法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
廃棄物・リサイクル	資源有効利用促進法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	廃棄物処理法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	容器リサイクル法	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	家電リサイクル法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	建設リサイクル法	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-
	食品リサイクル法	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動車リサイクル法	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
土地利用	工場立地法	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
地球環境保全・省エネ法	温対法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	省エネ法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フロン排出抑制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オゾン保護法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※条例はそれぞれの地域で定められた環境保全や公害防止、地球温暖化、廃棄物関連等の環境関連条例も適切に遵守しております。

(2) 法規制の遵守評価

① 法律改正状況の確認

年4回の環境会議のほかに改正情報を各工場に配信し、法律改正時の対応漏れがないように取り組んでいます。

② 法律遵守状況の確認

各工場の内部環境監査実施時、また、環境会議の場で、該当の有無や順守状況の確認を行いました。

要求事項 5. 環境関連法規等の取りまとめ

環境関連法規の遵守状況の 確認及び評価の結果

(3) 再生利用等の実施率

2022年度の再生利用等の実施率は全社で92.3%でした(分母生産パック数)。個別目標である基準実施率と、業種別の目標である食品製造業95%以上を達成することができませんでした。尚、下の表は再生利用等の実施率の原単位の分母を売上高にして報告した食品リサイクル法に基づく定期報告書での内訳となりますがそちらは目標達成しています。

	総量	内訳	
食品廃棄物の発生量	21,767 t	惣菜製造業	8,566.1 t
		調理パン製造業	8,490.5 t
		菓子製造業	3,960.8 t
		肉加工品製造業	749.3 t
再生利用量	17,264 t	惣菜製造業	6,118.6 t
		調理パン製造業	6,770.9 t
		菓子製造業	3,625.5 t
		肉加工品製造業	749.3 t
熱回収量	0 t		0 t
減少量	3,817 t	惣菜製造業	2,086.1 t
		調理パン製造業	1,671.5 t
		菓子製造業	59.3 t
		肉加工品製造業	0.0 t
再生利用等以外の量	0 t		0 t
廃棄物としての処分量	685 t	惣菜製造業	361.4 t
		調理パン製造業	48.1 t
		菓子製造業	275.9 t
		肉加工品製造業	0.0 t
再生利用実施率	97.1 %	惣菜製造業	90.4 %
		調理パン製造業	104.2 %
		菓子製造業	92.5 %
		肉加工品製造業	100.0 %

(4) 産業廃棄物処分業者の現地確認

当社は廃棄物管理を廃棄物の専門家にコンサルしていただいております。毎年、コンサルタントとともに廃棄物処理業者への現地確認を行い、廃棄物等が適切に処理されていることを確認しています。

昨年はコロナ禍で現地確認が難しいところもあり、一部リモートでの確認と臨機応変に対応を行っていましたが、今年は直接処理状況確認を実施しております。

要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営目標・実績

全社環境経営目標と結果

2021年度を基準年度に目標の策定を行いました。本社は、相模原第一と同建物で本社のみエネルギーを分けられないため、本社は施策の件数を目標にしています。

<工場サイト>								
環境経営方針	重点取り組み指標	単位	2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績	結果	2023年度目標	2024年度目標
廃棄物の削減	食品廃棄物排出量 原単位の低減(排出量/生産数量)	g/pk	30.93	31.21	29.64	◎	30.90	30.59
	廃プラスチック類排出量 原単位の低減(排出量/生産数量)	g/pk	9.41	9.32	9.33	×	9.23	9.14
	その他産業廃棄物排出量 原単位の低減(排出量/生産数量)	g/pk	6.90	7.07	6.97	◎	7.00	6.93
リサイクル	食品リサイクル率の向上	%	90.8%	96.9%	92.3%	×	97.3%	97.7%
エネルギーの削減	二酸化炭素排出量原単位の低減 原単位の低減(使用量/生産数量)	kg-CO2/ 千pk	110.96	104.69	113.58	×	103.64	102.61
	電気使用量 原単位の低減(使用量/生産数量)	kWh/ 千pk	133.22	132.14	141.64	×	132.14	130.82
	ガス使用量 原単位の低減(使用量/生産数量)	ℓ/ 千pk	21.68	21.37	23.08263	×	21.15	20.94
水の削減	水使用量 原単位の低減(使用量/生産数量)	m3/ 千pk	3.32	3.30	3.44	×	3.27	3.24
その他	自ら生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	件	177	195	207	◎	197	199
	環境改善活動・地域貢献活動	件	879	837	915	◎	844	849
<本社サイト>								
環境経営方針	重点取り組み指標	単位	2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績	結果	2023年度目標	2024年度目標
廃棄物の削減	食品廃棄物排出量 原単位の低減(排出量/生産数量)	件	0	12	12	◎	12	12
	廃プラスチック類排出量 原単位の低減(排出量/生産数量)	件	実績なし	36	24	×	36	36
	その他産業廃棄物排出量 原単位の低減(排出量/生産数量)	件	36	36	60	◎	36	36
リサイクル	食品リサイクル率の向上	件	0	12	10	×	12	12
エネルギーの削減	二酸化炭素排出量原単位の低減 原単位の低減(使用量/生産数量)	件	120	120	168	◎	120	120
	電気使用量 原単位の低減(使用量/生産数量)	件	12	12	12	◎	12	12
水の削減	水使用量 原単位の低減(使用量/生産数量)	件	12	12	12	◎	12	12
その他	自ら生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	件	13	13	36	◎	13	13
	プラスの環境側面	件	241	241	261	◎	241	241

要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営計画・実績

エネルギーの削減

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



太陽光発電の追加設置と清掃

当社では、自社購入で太陽光発電を既に導入しておりましたが、2022年度に豊田第一で**PPAで導入**を行いました。また、既設の太陽光パネルも**定期的に清掃**することで発電効率を高めています。

※PPAとは、PPA事業者が、当社が所有する土地(屋根上など)に無償で太陽光発電設備を設置し、そこで発電した電気を当社が買い取って使用する取り組みのことです。



機器更新、節電・節ガス対策、機器設置

13 気候変動に
具体的な対策を



古くなった外番重洗浄機、空調機を**省エネ効率のいい新しい機器に更新**しています。

また、左の写真は空調に**遮熱断熱塗料を塗装**することで、空調の消費電力を削減しました。塗布箇所は白くなっている部分ですが、塗布の有無をサーモカメラで確認したところ、色の变化で温度が下がっていることが確認することができます。

他にも、空調に**静電気除けを設置**することで熱交換器の汚れを防ぎ効率のいい運転や、冷蔵冷凍機に**「流体攪拌装置」を設置**することで冷却効率を向上させたり、**工場内減圧弁保温ジャケット未装着箇所に装着**などを行いました。



ガソリン・経由の使用量の削減

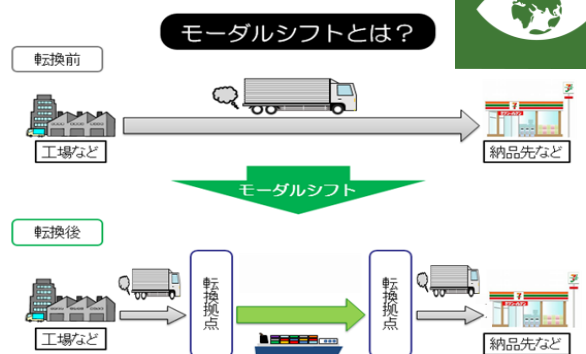
13 気候変動に
具体的な対策を



自社物流について**運転支援システムを使用**した運行管理により、配送を効率化しました。

また、**一部の便でフェリーを使用**することにより、軽油使用量を削減しています。

これは、「モーダルシフト」というもので、交通・輸送手段の転換のことです。特に、貨物輸送をトラックから船などの変えることを言います。。



要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営計画・実績

廃棄物の削減

12 つくる責任
つかう責任



減容機の活用

当社では、**関東・東海・関西の3拠点にエコセンターを設置**し、工場から排出される野菜くずなどの植物性残渣を圧縮・脱水、ゴミ減容化することで、**排出量を85～90%削減**しております。

また、相模原第二工場と熊本工場では食品**消滅機を導入**しています。食品消滅機とは、微生物の力で食品を発酵させて分解する機械です。相模原第二の消滅機は堆肥化型のもので食品を消滅機に投入することで排出量を約85%削減しております。熊本工場の消滅機は完全消滅型で投入物を約99%を水にして、残渣物を出さない機械となっています。

さらに、龍ヶ崎工場では**食品乾燥機を導入**しています。食品乾燥機とは、その名の通り食品を乾燥させることで堆肥化する機械です。龍ヶ崎では野菜くずを乾燥機に通して乾燥させることで堆肥化しています。堆肥化させた堆肥は業者に**有価で売却**しています。

これらの取り組みにより、**2022年度は排出量を「約4,500t」削減**することができました。

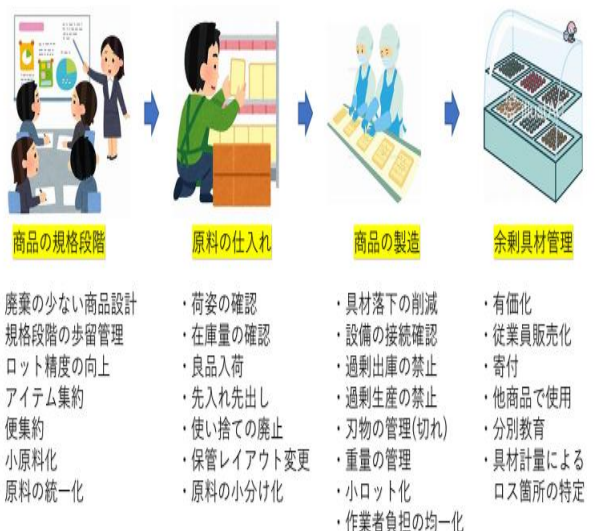


歩留改善

日々の生産で「歩留改善」を行っています。歩留とは、原料料の投入量から期待される生産量に対して、実際に得られた製品生産数のことです。歩留を改善することは、製造工程でのロス改善をすることになります。

2022年度は、新商品推奨時の初期流動管理に注力したり、廃棄実績から歩留をよくするための工程改善、廃棄実績の多いものを毎週報告し実績数値の見える化、ロスが多い原料を小集団のチームに分けて活動を行いました。

●発生量削減の流れ



要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営計画・実績

廃棄物の削減

12 つくる責任
つかう責任



商品切替

昨年から引き続き全工場での挿入展開をしている軽食カテゴリーのライナーレスラベラーを龍ヶ崎工場で展開し、**約250kgの廃棄物を削減**しました。
2023年度には、調理パンカテゴリーでも導入を予定しています。
※ライナーレスラベルとは、剥離紙(ライナー)がない、ラベルの表面に剥離処理が施されているセロハンテープ状のラベルのことです。通常はある裏紙がないため、ラベルの裏紙の廃棄物が削減することができます。



一斗缶を圧縮し減容

相模原第二工場では、一斗缶などの金属ごみを有価化する取り組みで、空き缶を圧縮して減容化しました。2022年度中期から始めた取り組みですが、**約10tの金ごみを圧縮**して、産業廃棄物から有価物に変更することができました。

また、枚方工場でも自社製造の圧縮機で一斗缶を圧縮して排出していますが、排出量が少なく有価化とはなっていませんが、収集運搬回数を週2回から週1回に変更して**輸送容積を減容し、輸送に伴う二酸化炭素排出量の削減**に繋がっています。



リサイクル率の向上

12 つくる責任
つかう責任



原材料のリサイクル

製造工程でどうしても発生してしまうスポンジの切れ端を、これまでは食品残渣として廃棄していましたが、佐賀工場では飼料化業者に**有価販売**して廃棄物でなくなりました。

要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営計画・実績

水使用の削減

水の再利用

食品製造過程の中で、野菜は多量の水で十分な流水洗浄し、殺菌して、さらに十分な流水ですすぎ洗いを行っています。綺麗な状態の水を少しの利用で排水してしまう工程の水を再利用しました。

1つ目は、**オーバーフロー水の再利用**です。オーバーフロー水とは、野菜の洗浄機で流水洗浄した際に溢れ出してしまう綺麗な水のことです。この水を回収し、野菜処理の初期段階で野菜の異物除去を目的とした洗浄水として利用したことで宗像工場では**4t/日の節水**効果がありました。

2つ目は、**中水(ちゅうすい)利用**です。中水とは、通常の生活に使う水の「上水」と、生活する上で排出される「下水」との中間にあたる水で、以前より野菜のすすぎ水をトイレの排水に使用していましたが、冷却機器の冷水や加熱機器の冷水も併せて中水として使用するように変更しました。



製品サービスの改善



商品集約

西日本商品部九州地区は九州4工場の特性を把握して、最適なアイテム振り分けを行い生産効率のアップにつなげています。アイテム数を集約することは、**原材料の効率的な使用、工場稼働時間の減少**することができ、フードロスやCO2削減にも繋がっています。

アプリ活用

野菜事業部ではソフト KINTONE を利用し**アプリで野菜育成を管理**しています。アプリのデータ(生産条件)と野菜のロス(例:生育不良)の関連も分析を始めており、野菜育成の品質管理手法として評価されています。

地区と連携

本社の商品開発部では地区メニュー開発による**地産地消の推進**や購買部では12工場と連携し、**主要原材料ロスの削減**に努めるなどの活動に取り組んで成果をだしています。

要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営計画・実績

環境改善活動・地域貢献活動

16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



相模原ベジタブルプラント(SVP)の運用

相模原ベジタブルプラントでは、播種(はしゅ)や定植など一連の工程の自動化、食品工場として培った衛生管理を進めることで、ASIAGAPを取得しました。ASIAGAPとは、GFSI(世界食品安全イニシアチブ)の承認を受けた、農業における食品安全・環境保全・労働安全などの認証制度のことです。工場で栽培された野菜を工場ですラダに加工し販売しています。工場栽培なので、物流に関わる二酸化炭素排出量の削減、鮮度がいい野菜で廃棄削減、野菜の包装工程でゴミの削減に繋がっています。



環境を配慮した包材の使用

植物性由来の活用

オリジナルパッケージのフィルムとインキを植物性由来のものに変更しました。これにより、CO₂排出量削減効果があります。



このパッケージのインキには環境に優しい植物由来の原材料を使用しています。

バイオマス素材の導入

「サラダカップ容器」を、石油由来のPET容器から「環境配慮型PET(リサイクルPET、バイオマスPET)」を配合した容器へ切り替えています。



環境配慮型PETを使った「サラダカップ容器」の一例

食品廃棄量の削減

使用原料の選定による歩留りの改善
(例) ミックスサンド



チーズ
スライス済を仕入
自社スライス：90%
スライス済：99%

タマゴフィリング
フィリングを仕入
自社フィリング：85%
仕入フィリング：97%

容器包装プラスチックの削減

紙包材を使用した開発
(例) デザート、調理パン



来年を目標にプラスチック容器から紙包材を使用した商品開発を行っている。

要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営計画・実績

環境改善活動・地域貢献活動



地域交流

① 外周清掃

定期的に**工場敷地外の外周の清掃活動**を実施しています。駐車場周辺などは、空き缶や飴やガムなどのお菓子の袋、たばこなども捨ててあることがあります。工場周辺も会社の一部と考えて、今後も定期的に清掃することで周辺美化に努めます。

② 近隣小学校への対応

近隣小学生の生活科の学習の一環に協力しています。これは、近隣の人や企業などを調べ、地域のことを理解し興味を持つことを目的とした授業で、児童の書いた質問に返事を書いて質問取材に協力するものです。また、工場周辺小学生生徒に無料で配布される「キッズセーフティマップ」に広告料を払っています。

③ 地域イベント貢献

地域の花火大会やお祭りなど、**協賛金の寄付**をしています。また、**技能実習生に日本の文化を体験してもらうため積極的に地域のお祭りに参加**してもらい、体験や抽選会を通して地域の方と交流をしています。



野菜くずやパン耳の再利用

牛久沼水辺公園の白鳥に餌やりのために工場から出たレタス外「葉芯くず」、「パン耳」を提供しています。龍ヶ崎市から委託された方が交替で毎日2回餌食を行っています。



環境配慮製品への切替

名刺ケースの再利用を行っています。発行した名刺ケースでなく使用済みの封筒に入れ配布に切替ました。また、これまでもグリーン適合品の購入を拡大して継続購入をしてきましたが、よく使用している事務用品について再度見直しを行い、環境配慮された製品に切替ました。

<国及び第三者機関の取組による環境ラベル>



要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営計画・実績

環境改善活動・地域貢献活動

16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



河川調査

当社では、「相模原の環境をよくする会」の会員として、**河川の生物相調査**に参加しました。相模原の環境をよくする会では、毎年同じ観測地点で観測することで環境の変化を調べています。河川により生物相の違いが確認でき、サワガニ、ヨコエビなどが発見できました。捕獲した生物の個体数から生息する水質階級と照らし合わせて点数をつけていき、合計点数が水質階級の判定を行います。前年と同じ階級で会社周辺の環境が守られていることを確認しました。



環境まつりの参加

地域で活動する市民や事業者および大学、行政が協働で行う「**さがみはら環境まつり**」に**ボランティア**で参加し、スタッフとして来場者の対応を行いました。コロナ禍で2年続けて中止となったため、3年振りの開催ということもあり台盛況でした。



取り組み原稿寄与

会社のホームページで環境経営レポートを相模原市行政の人が見たことで廃棄物の取り組みについてインタビューを受けた後で、その内容について**A4サイズ4枚の原稿寄与**に依頼があり、相模原第二の消滅機とSVPIについて原稿を作成し寄与しました。



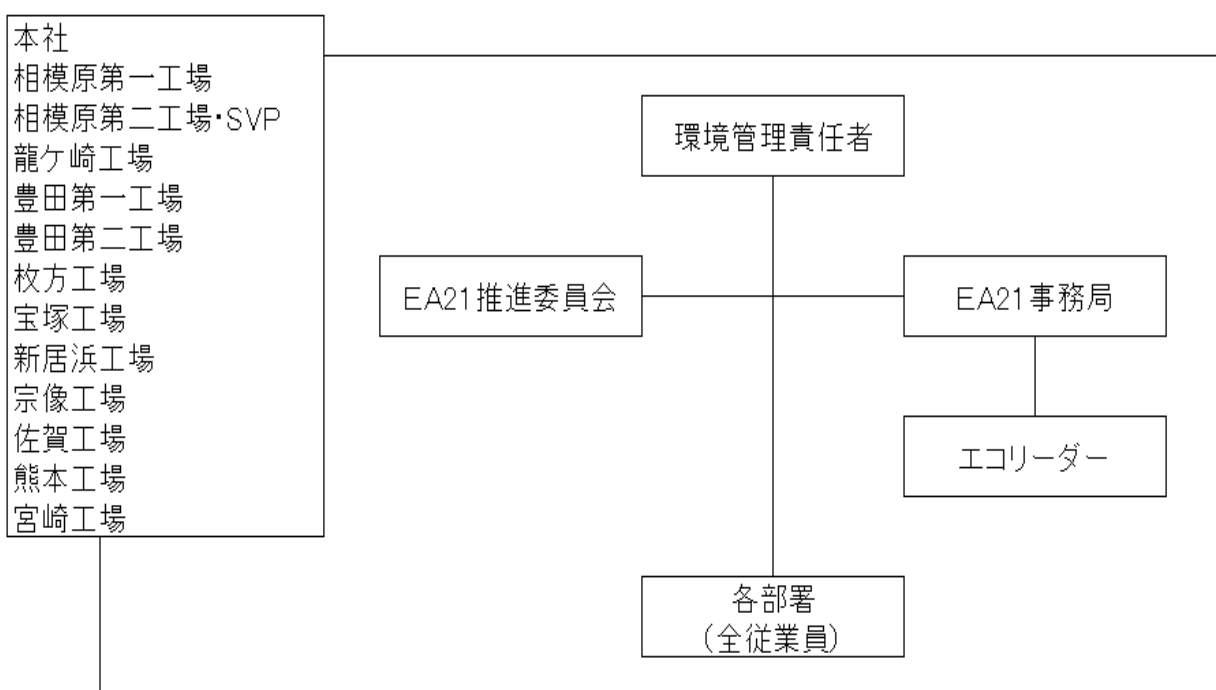
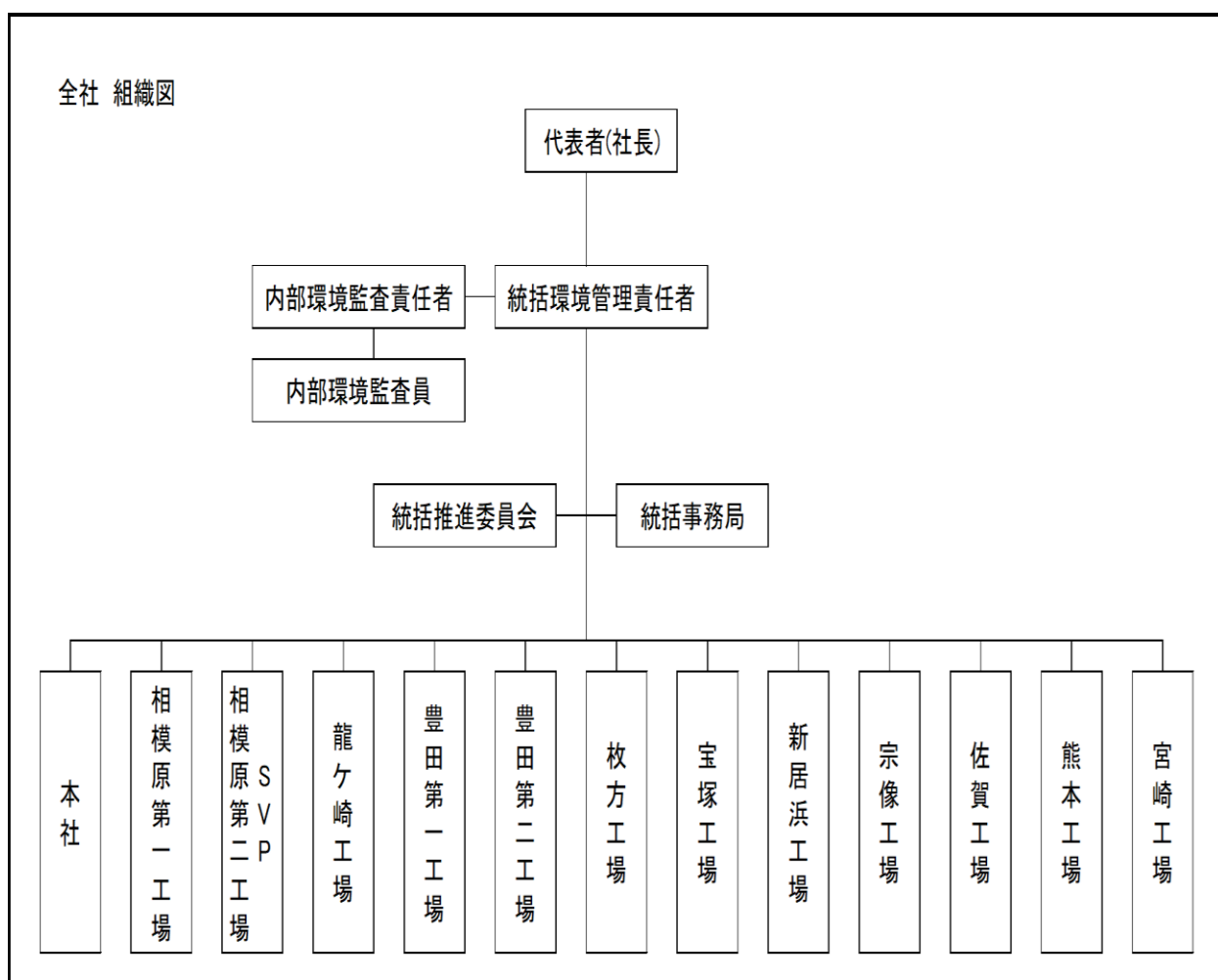
環境講演の実施

EA21審査機関のかながわ環境カウンセラー協議会からEA21認証企業向けの脱炭素・カーボンニュートラルの事例発表とパネルディスカッションの依頼があり、**取り組み内容と脱炭素をテーマに講演**を行いました。



要求事項 7. 実施体制の構築

実施体制



※本社のみ、EA21事務局の下にエコリーダーを設置しています

要求事項 7. 実施体制の構築

実施体制

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針の策定 2. 統括環境管理責任者の任命、環境保全活動の取り組みに関する責任及び権限の付与 3. 内部環境監査責任者の任命、環境マネジメントマニュアルの運用確認と指導権限の付与 4. 環境マネジメントシステムの実施に必要な資源(人材、資金、技術、インフラストラクチャー、情報等)の提供 5. 代表者による全体の見直しと評価を行う 6. 各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する
統括環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコアクション21の要求事項に適合した環境マネジメントシステムを確立、実施、維持、管理 2. EA21統括事務局を任命、事務局責任者として運営 3. 統括推進委員会を主催する 4. 環境関連文書の承認をする 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、順守の徹底 6. 環境マネジメントシステムの運営状況及び実績に関して、社長に報告 7. 環境管理責任者の任命
統括推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムの運用状況の進捗を確認する 2. 統括推進委員会は、統括環境管理責任者を委員長する 3. 構成員を環境管理責任者と統括事務局とする 4. 開催日 1年に1回(5月)に全社と1年に3回(7.10.1月)開催する
統括事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統括環境管理責任者の補佐、及び全社の実行業務の支援を行う 2. 環境マネジメントマニュアル及び環境経営レポート、全社共通の規程、全社環境経営目標、その他文書を作成 3. 全社に関わるその他文書を作成する 4. 全社環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成及び順守評価を実施 5. 環境関連文書及び記録の整備及び保管
内部環境監査責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムが適切に実施され、維持されているかを検証するため、内部環境監査を定期的に実施するよう指示する 2. 内部環境監査の結果を社長に報告する 3. 監査終了後、良かった点などの水平展開を指示する
内部環境監査員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部環境監査員養成研修合格者またはISOの内部監査員資格保持者から内部環境監査責任者より任命される 2. 監査結果が『特に優れた点』『改善』『軽微な不適合』『不適合』かを評価し、評価した結果を報告書にまとめ、是正処置を依頼する 3. 良し悪しだけでなくマニュアルそのものを審査し、責任の所在(どこ、誰、解決方法)の確認を行う
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 担当(本社、工場)の環境管理の責任者として統括する 2. EA21推進委員会の委員長を兼務する 3. EA21事務局、EA21推進委員を任命する 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. EA21事務局の責任者として事務局運営 6. 事業所の環境関連文書の承認をする 7. 環境関連ご指摘の周知における開示権限を持ち、開示することができる
EA21推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所の環境マネジメントシステムの運用状況の進捗確認 2. 委員長を《環境管理責任者》とする 3. 構成員を部門責任者と事務局とする 4. 開催日 3か月に1回(5.8.11.2月)、開催する 5. 環境経営計画実施状況の評価(四半期ごとに評価を行い、事務局が環境経営計画に記載する) 6. 事務局が議事録作成
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく順守評価の実施 6. 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、記録の作成 7. 工場の環境関連文書及び記録の整備、保管 8. 事務局長は事務局をまとめ、事務局員と協力してエコアクション21を行う
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21推進委員とする 2. 自部門における環境経営方針の周知、従業員に対する教育、訓練の実施 3. 自部門に関連する環境経営計画の作成及び実施、達成状況を報告 4. 特定された自部門の緊急事態の手順書作成及びテスト、訓練を実施 5. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 6. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
エコリーダー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 担当エリアのエコオフィス活動の進捗状況を毎月管理する(監視・測定・記録)
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する

要求事項 8. 教育・訓練の実施

教育・訓練

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



一般教育

全従業員が、環境への取組を適切に実施するために、会社の環境経営方針を理解し、本社、各工場で計画した環境経営目標や環境経営計画などにおける自らの役割、責任、役職などに応じた取組内容などについて十分に認識することを目的とした教育です。

パート従業員、全社員、管理職別に分けて教育し、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、手順書、実施体制、環境情報などを教育資料として説明をしています。



専門教育

環境法規などに関わる業務、直接的に環境に大きな負荷を与える業務、緊急事態に関連する業務など環境に大きな影響を与える組織の業務のことを「特定の業務」として、一律に教育・訓練を行うのではなく、それぞれの業務や役割などに応じた教育・訓練を行っています。

専門教育では、**特定業務従事者や内部環境監査員を対象**として力量強化を行い、各自の役割分担の確認をしています。

内部環境監査員養成研修は今年で3回目となりました。



その他の教育

外国人従業員には、日本の文化やルールをよく知り、よりよい関係が築けるように**交流会やアドバイザーによる教育等**も行っています。また、**企業主導型保育園**として、保健所と会社が契約し出産しても預け先に困らないように従業員が働きやすい環境を整えていることも周知しています。

また、統括事務局より全社員に向けて**毎月環境に関する教育資料「環境ミニっ情報」**を配信しています。全従業員が理解しやすいように多国語に翻訳して、今年度はSDGsに関する内容について配信を行いました。



要求事項9. 環境コミュニケーションの実施

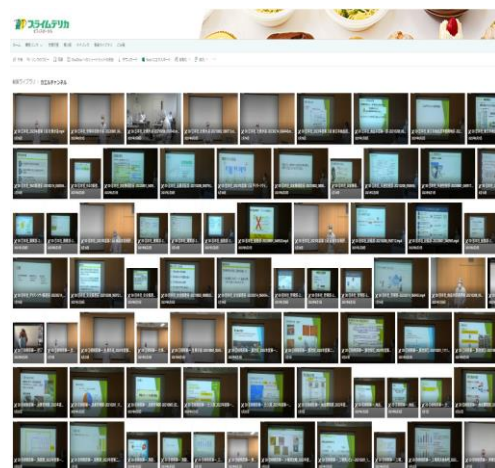
環境コミュニケーション記録

内部

本社、各工場のEA21事務局は年4回以上の会議を実施しています。環境経営目標と環境経営計画の進捗状況を負荷チェックを確認しながら目標達成に向けて話し合っています。

全社の改善活動としては、**6S活動(5S+安全)**、**ルッククリーン**、**小集団活動**、**改善提案制度**、**ヒヤリハット撲滅活動**、「カエル会」等全員参加の活動を行っており、カエル会の動画は社内で誰でも見れるようになっており、好事例は各工場で水平展開を実施して活動成果も上がっています。

また、従業員の意見を聞くために**目安箱を設置**しています。



外部

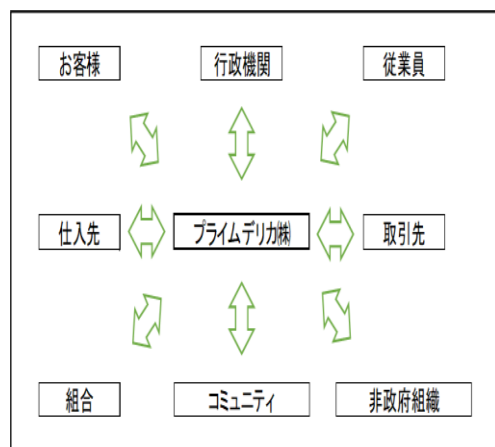
社外のコミュニケーション記録として、以下内容についてまとめています。

①外部とのやり取り

- ・環境関連ご指摘/要望等
- ・行政とのやり取り
- ・地域活動への参加などの記録

②地域活動の参加

地域のニーズの調査、工場周辺の清掃活動、地域への協賛活動を通して地域活動報告
また、取り組み内容は、当社ホームページで**環境経営レポートの公表**をしています。



要求事項10. 実施及び運用

マニュアルと手順書

環境経営方針、環境経営目標と環境経営計画の達成、環境関連法規などの順守、その他の環境への取組を効果的かつ効率的に行うために、**環境マネジメントマニュアルと手順書**などを作成し運用しています。

要求事項11. 環境上の緊急事態への準備及び対応

試行と訓練

事故や天災などを原因とする環境への重大な影響を最小限に留め、事業の継続性を担保するために、環境上の緊急事態の対応策または手順書を定め、環境に関する危機管理能力の向上を図ることを目的とした**試行と訓練を実施し、その有効性を確認**しています。



防災訓練

・連絡通報の訓練

緊急連絡網を整備して通報すべき内容や必要な情報が何かの確認を行いました。

・初期消火訓練

消火設備の確認や水消火器を使用した使用方法の確認を行ないました。

・避難訓練、避難経路の確認

館内放送や担当者が避難時に誘導して、エレベーターを使わない避難方法、火災時の防火扉を閉めるタイミングの確認、迅速に安全な場所までの避難して点呼と報告ができるか確認を行いました。また、AEDの講習なども受けて使い方を学びました。



排水処理施設の対応

・水質基準超過時の対応

水質汚濁等の環境影響を軽減するため、日常管理で負荷状況を確認していますが、基準値を逸脱してしまった時の対応方法を確認して適切な水質管理に努めています。

・排水処理施設からの漏洩対策

漏えい箇所を想定し、新たな漏洩があれば速やかに止め、応急処置と関係機関へ連絡を行うとともに、拡散防止のための措置方法の確認を行ないました。

試行と訓練の結果、一部の工場で土嚢の数や保管場所、拡散防止のため排水路、排水口等を閉止箇所の見直しを行いました。



要求事項11. 環境上の緊急事態への準備及び対応

試行と訓練

薬品の取り扱い

・使用方法の確認

工場で使用する薬品を取り扱う従業員に薬品の在庫方法、適切な取り扱い方、適切な保護具の着用方法について理解している確認をしました。

・飛散時の応急処置の確認

薬品が皮膚に付着したり、目に入ったり、誤って飲み込んでしまった確認を行い。床にこぼれたときなどに必要な用具を用いて回収する方法を確認しました。

・盗難時の確認

保管設備や保管場所等を再点検し、在庫量の定期的点検及び毒物劇物の種類等に応じての使用量の把握をして盗難・紛失があった際は外部の必要な箇所に連絡することを確認しました。



油庫の取り扱い

・油庫からの漏洩対策

漏えい箇所を想定し、新たな漏洩があれば速やかに止め、応急処置と関係機関へ連絡を行うとともに、拡散防止のための措置方法の確認を行いました。

油用の緊急事態対策キットを購入している工場が多いため、キットの在庫の確認と使用方法についても確認しました。

※相模原第一工場のみ油庫がないため対応除外



その他の取り扱い

・各工場で特色のある設備の対応

共通として環境上の緊急事態として特定している項目以外にも、工場により屋外貯蔵タンク、LPガス配管、重油、窒素配管などが設置されているため、各工場毎に追加で環境上の緊急事態を特定しており、試行と訓練を行っています。



要求事項12 文書の作成・管理

書類管理

全社員が分かりやすいように文書や記録を取り扱いをクラウドで管理しています。管理NOを割り当て各工場毎に書類の種類毎に保管しているため書類を探す時間の削減でき業務の効率化に繋がっています。

要求事項13. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防

内部環境監査

エコアクション21が適切に運用されているか、環境関連法令の逸脱はないか、自社の環境マネジメントシステム通り運用できているか、会社のルールは守られているかなど適合性と有効性の確認を目的として、毎年全工場内部環境監査員による内部環境監査を行っています。

内部環境監査員は外部機関でエコアクション21やISO14001の監査員養成研修を受講した人から任命しています。また、内部環境監査員は客観的な事実に基づき監査を行えるように自工場の監査はせず、中立的な立場から評価できていることを、かながわ環境カウンセラー協議会のコンサルの先生の指導の元、統括事務局も立ち合い確認をしています。



要求事項14. 代表者による全体の評価と見直し・指示

社長指示

・見直し結果

①環境経営方針

現状に合わせて見直しを行う

②環境経営目標

項目は継続するが、各工場の数値目標の見直し実施する

③環境経営目標の達成状況、環境経営活動計画

2021年度に、「自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善」「廃プラスチック類」は別項目で目標と計画を設定し取り組み指示は達成することができた。また、龍ヶ崎工場で廃プラ洗浄機を導入し安定的に処理・リサイクル化することができた。

2023年度は、更なる廃棄物削減をするためバイオマス発電の情報を集める。

 フライムデリカ
